

## 2016年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2016年度前期				2015年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	49	49	239	220	50(51)	49	128	123
非常勤	69	69	100	100	68(72)	64	93	88
総合計	118	118	339	320	118(123)	113	221	211

注) 教員人数欄は、アンケートを実施すべき講義担当者数、( ) 内は実人数

### 【属性】（設問 1～設問 2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	1337名	17.3%
	公共政策学科	790名	10.2%
経営学部	スポーツ経営学科	4272名	55.4%
	情報メディア学科	1296名	16.8%
科目履修生・交換留学生・聴講生		14名	0.2%
計		7709名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	3128名	40.7%
2年次	2188名	28.5%
3年次	1613名	21.0%
4年次	662名	8.6%
5年以上	83名	1.1%
科目等履修生他	14名	0.2%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

7,709／10,759＝71.7%（前回：65.1%）

今年度より、原則全講義（演習、語学、体育実技等を含む）で実施することとしたため、前年度に比べ **109** 科目もの大幅実施増となった。これにより、学生が選択できる授業について全て評価結果を開示することとなり、授業選択の参考として利用することができるようになったといえる。

### 設問 3. 【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が **38.8%** でほぼ前回どおりであったが、「分かりにくい」と答えた者が 7 ポイント増の **16.4%** であった。具体的には「字が小さい」、「字が汚い」、「丁寧でない」、「読みづらい」などの記述があり、「留学生にわかりやすく書いて欲しい」「漢字が多過ぎる」との要望も目立っていた。

また、「書く量が多い」、「黒板を消すタイミングが早くノートが取れない」や、板書に代えてのパワーポイントデータのプロジェクター投影について「どこを写せばいいのか分からない」、「スライドの切り替えが早い」などの記述がかなり目立っており、プリント配付のない授業においては、黒板やパワーポイントを全て書き写している学生には不満が多いことがわかる。

#### 設問 4. 【話し方】

○教員の話し方についても、「分かりやすい」が 58.6%で、ほぼ前回どおりであった。「わかりにくい」と答えた 10.1%の具体的理由としては、「マイクの音量が適切でない（大きすぎる、小さすぎる）」、「マイクを使って欲しい」、「聞きとりにくい」、「早口でわからない」といった記述があったが、ほとんどが毎回特定の科目・担当者に関するものである。

「静かなので聞きやすくて良い」といった記述もあり、話し方ばかりでなく教室の静かさとの関係も大きいようである。

#### 設問 5. 【授業の進め方】

○学生が理解できているかを確認する工夫として、選択肢としている「学生との問答がある」(30.7%)、「前回の振り返り」(23.6%)、「小テストの実施」(19.6%)、「質問に対する適切な回答」(12.3%)などはいずれの項目も少しずつ増加している。

記述欄にも「毎回小テストがあるので復習になる」、「前回の振り返りがあるので理解が深まる」、「指名して答えさせるのが良い」といった内容が増えてきており、確認テスト、前回の振り返り、指名して回答、の3つのキーワードが、理解度を高める要因として学生が評価しているといえる。逆に「ほとんど一方的だった」と答えた割合は前回より3ポイント減り13.7%であったが、学科により若干差異が見られる。

#### 設問 6. 【授業環境】

○教室内の授業環境については、前回より3ポイント改善し71.9%が「常に静穏」であると回答している。「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が4.0%であったが、記述部分には、「私語をしている人に注意して欲しい」、「指定席にするなど対応して欲しい」など教員の対応を求める声が多くあった。ただし、「受講者が多過ぎやかましいのでクラスを分けて欲しい」との記述など、総じて受講者数の多い講義は静穏でない傾向があるため一定以上の受講者数にならないような何らかの対策が必要である。

#### 設問 7. 【授業の予習・復習】

○昨年度から、予・復習をどの程度行っているのか大よその時間数で回答させることとしたが、1時間以上と回答した者は若干増えたものの10.2%であった。「ほとんどしない」が63.1%であり、相変わらず授業の予習・復習をして理解を深める習慣が備わっていない者が多いといえる。学科別には、スポーツ経営学科は予習・復習をしていない割合が69.2%であったのに対し、情報メディア学科では50.9%、経済学科54.5%、公共政策学科65.6%と、学科による差異がみられた。

#### 設問 8. 【授業の難易度】

○授業の難易度は、「理解できる」(38.8%)、「十分に理解できる」(32.2%)をあわせた71.0%が授業を理解できておりほぼ前回どおりであるが、「やや難解」(23.4%)、「難解すぎて理解できない」(5.6%)など大よそ教室内の3割の者が理解できずに授業を受けているといえる

ため、担当者は、授業の進行にあたって学生の理解度を確認する何らかの工夫が必要であろう。

#### 設問 9. 【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が 24.9%で、「まあまあ満足」(32.0%)、「非常に満足」(35.4%)をあわせた「概ね満足」者が約3人に2人、「やや不満」(4.4%)、「非常に不満」(3.0%)を合わせた「不満」者が7.4%の結果となった。

学科別には、公共政策学科とスポーツ経営学科で「概ね満足者」が72%を超え、大よそ4人に3人が満足感を得ているのに対し、経済学科、情報メディア学科では64%にとどまっているため、満足感を決める要因が何であるかを探る必要がある。

#### 設問 10. 【良かった点、改善してほしい点 (抜粋)】

<良かった点>

- ・マス作り、高山インターンシップなど楽しい体験があり友達もできた
- ・大変熱心に教えてくださった
- ・資格取得に向けた対策がありとても良かった
- ・親切・丁寧に答えてくれるので何でも質問でき良かった
- ・各自発表してそれについて考える授業方法は良かった
- ・座席指定なので静かで、とても集中しやすい環境だった
- ・個別指導を設けるなどサポート体制が手厚い
- ・DVDなどの映像を使った授業が楽しく学べた
- ・学外講師の講義はとても新鮮味があって良かった
- ・添削してレポートを返してくれる

<改善してほしい点>

- ・偏見や独断が多い、自分のやり方を押し付けてくる
- ・作文やレポートを受講生の前で公開するのはやめて欲しい
- ・出来、不出来で受講者を差別するのはやめて欲しい
- ・隣の教室の音が気になる
- ・強制的に登録しないで欲しい
- ・授業に遅れないで欲しい
- ・不適切な発言や過激な発言がたびたびある
- ・中学レベルの英語で面白みが無い
- ・授業の進行が早すぎる ゆっくり進めて欲しい

以 上